

特長

- 衝突エネルギー100kJまでの落石等を受け止められます
- 衝突後の補修作業が容易です
- 比較的安価で導入できる為、コストダウンに繋がります

支柱間隔6mの場合
変形量は3m程度
に抑えられます

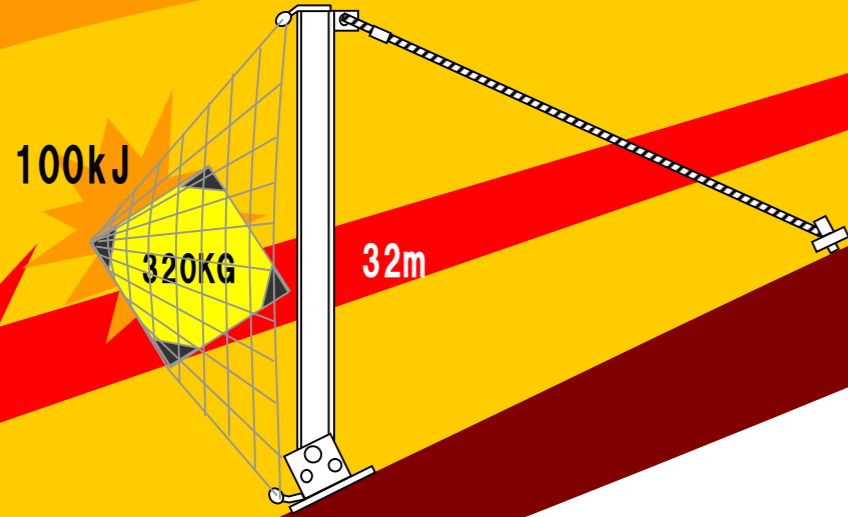
道路際からユニック等を使
っての補修作業が可能



320KG

100kJのエネルギーを
受け止めて、補修も簡単
ハイジュールネットの弟分

ロックホールド100



エネルギー適用範囲

- * KSG: 改良型落石防止柵
- * BRG: 強化型落石防止柵ロックガード
- * HJN: 高エネルギー吸収型落石防止柵

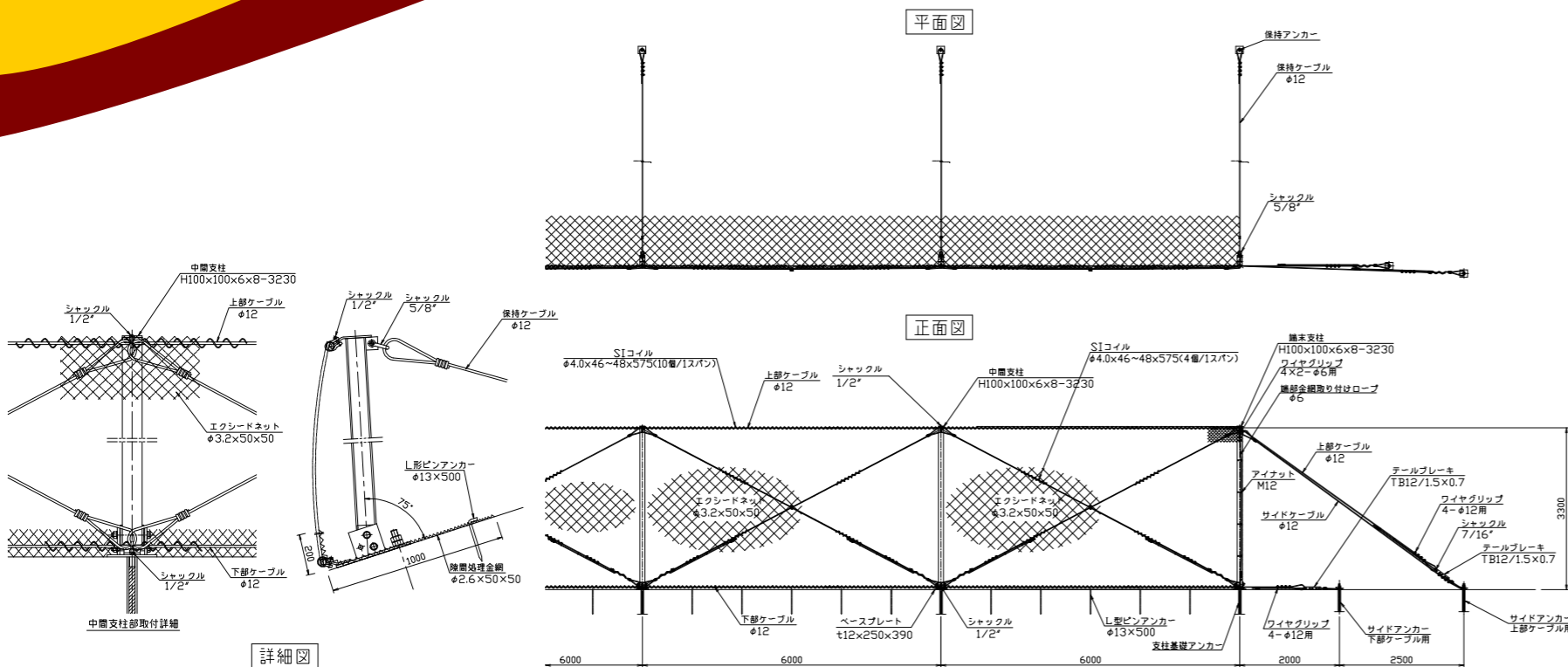
落石エネルギー(kJ)

石の重量W	kg	kN	斜面勾配θ								
			設計条件 斜面の等価摩擦係数 μ=0.25 落下高さ H=40m 設置延長 L=18m								
			1:1.5 34°	1:1.4 36°	1:1.3 38°	1:1.2 40°	1:1.1 42°	1:1.0 45°	1:0.9 48°	1:0.8 51°	1:0.7 55°
100	0.98	27.1	28.3	29.3	30.3	31.1	32.3	33.4	34.4	35.6	
125	1.23	33.9	35.4	36.7	37.8	38.9	40.4	41.8	43.0	44.5	
150	1.47	40.7	42.4	44.0	45.4	46.7	48.5	50.1	51.6	53.4	
175	1.72	47.5	49.5	51.3	53.0	54.5	56.6	58.5	60.2	62.3	
200	1.96	54.3	56.6	58.6	60.5	62.3	64.7	66.8	68.8	71.1	
225	2.21	61.1	63.6	66.0	68.1	70.1	72.8	75.2	77.4	80.0	
250	2.45	67.8	70.7	73.3	75.7	77.9	80.9	83.5	86.0	88.9	
275	2.70	74.6	77.8	80.6	83.3	85.7	88.9	91.9	94.6	97.8	
300	2.94	81.4	84.8	88.0	90.8	93.4	97.0	100.2	103.2	106.7	
325	3.19	88.2	91.9	95.3	98.4	101.2	105.1	108.6	111.8	115.6	
350	3.43	95.0	99.0	102.6	106.0	109.0	113.2	116.9	120.4	124.5	
375	3.68	101.8	106.1	110.0	113.5	116.8	121.3	125.3	129.0	133.4	

設計条件
斜面の等価摩擦係数 μ=0.25
落下高さ H=40m
設置延長 L=18m

- ← KSG-35以下
- ← BRG-15~BRG-60
- ← KSG-40~KSG-60
- ← **ロックホールド100(~100kJ)**
- ← HJN-250

設置図



実証実験

スイス公的機関WLSの厳しい実験方法に準拠して性能を確認!!
→ 重錘320kgを32mから自然落下
(衝突速度: 25m/秒、エネルギー: 100kJ)

100kJのハイジュールネット 実証実験
重錘320kg、落下高さ32m
網高3.0m、支柱間隔6m
網設置 30mの中央スパン(中央部)
2010年 2月 16日
神鋼建材工業株式会社

試験位置	落下エネルギー	最大変形量	捕捉性能
中央スパン	100kJ	2.775m	OK
端末スパン	100kJ	2.705m	OK
支柱直撃	25kJ	-	OK

エネルギー吸収型落石防止柵

ロックホールド100

